



インド福祉村協会 (IWVS)

http://iwvs.web.infoseek.co.jp

現地 PM 加藤 伸也

2009年11月02日 発行 第20号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

## ◎ ソーラー発電設置に低利融資 ◎

[09/10/13-12:49]

### 【インド経済】ウッタル・プラデシュ州、太陽光発電照明の農村普及促進で低利融資

ウッタル・プラデシュ (UP) 州新エネルギー資源省の新エネルギー開発局 (UPNEDA) は、農村地域における太陽光発電照明システムの普及を促進するため、地方農村銀行がマイクロファイナンス (貧困層向け小口金融) の手法を用いた低金利ローンを提供する計画を明らかにした。10月12日付でPTT通信が報じている。

同局によれば、ローンは農村銀行が各村の村民委員会を通じて、太陽光発電照明を設置する家庭に… (この続きは、

有料記事のため掲載不能

こんな記事をネットで見つけました。私が滞在するUP州の政府が農村の家庭に通知するそうです。

確かに何回も触れましたが、電気事情は特に農村部では最悪です。

基本的に都市部は24時間来るそうです。それ以外は数時間、分単位で

す。この間は1分来て切れ、数度繰り返して終わりです。



ペットボトル

た。遊んでいるのかと考えてしまいます。

懐中電灯のバッテリーは充電式ですが、結局電気がいりません。私も今回は経験を積んだので、考えに考え行き着いたのが、「ソーラー発電型ライト」です。インドの家は窓が小さく、室内は暗いのです。大変重宝しています。スタッフも暗いときはこのライトを自転車に付けて帰っています。スタッフは13人ですが、24時間電気OKの家は二人のようです。ペットボトルを切り、砂を入れて、そこに差し込んでいます。

ゲートにいる夜警番のスタッフにも渡してあります。朝、ゲートで充電しているので、患者が来ては「それは何だ」と聞いています。結構関心度が高く、評判もよろしいようです。とにかく、知って貰えれば持ってきた価値はあります。

## ◎ 10月16日 妊婦学校 再開 ◎



10月はお祭り、結婚の月のようで、しかも金曜に当たる日が多かったですね。今日が初めてになります。参加者が少なく、祭り疲れでしょうね。数日間夜を通して祝うようです。真夜中にも音楽が聞こえる日もあります。

インド人はエネルギーです。この力が繁栄を支えているのでしょう。しかし、なかなか農村までその繁栄の結果が届くのは遅いようです。

結構と言えば、こんな話を聞きました。「インド人は二度結婚する」。スタッフの一人に聞きました。「都市部では減ったが、農村は慣習がある」(インド全体かは不明) そうです。法律は「男-20歳、女-18歳」から結婚できます。最初にまず結婚します。直ぐに「妻」

は実家に帰り、生活します。その間、「デートは禁止」で、電話は言いそうです。

これが、「三年間継続」します。そして、二度目の結構式を迎えます。これで晴れて「新婚生活」が始まります。ヒンディ教の影響、農村の慣習等々のようです。

親の絶対権力で決める縁談でしかも、近距離別居生活。

貴方ならどうする…。